

作成日 1997年 5月 1日

改訂日 2023年 4月 1日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	電解液 N-10
会社名	株式会社 中央製作所
住 所	名古屋市瑞穂区内浜町24番1号
担当部署	研究開発部
電話番号	052-821-6196 F A X 052-823-2796
整理番号	N-10

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

生殖毒性 : 区分 1B
生殖毒性(授乳に対する又は授乳を介した影響)
: 追加区分

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)
: 区分 2 (単回ばく露)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)
: 区分 2 (皮膚, 全身毒性, 甲状腺)

絵表示またはシンボル



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 授乳中の子に害を及ぼすおそれ 臓器の障害 (甲状腺) 長期にわたる、又は反復ばく露による 臓器の障害 (皮膚、甲状腺、全身毒性)

注意書き

安全対策	: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ミスト/蒸気を吸入しないこと。 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置	: ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
保 管	: 施錠して保管すること。
廃 棄	: 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物		
化学名 (又は一般名)	よう化カリウム水溶液		
成分及び含有量	よう化カリウム	9%	水 91%
化学特性 (化学式)	KI		H ₂ O
官報公示整理番号	1-439 (化審法)		
C A S No.	7681-11-0		

4. 応急措置

- 皮膚に付着した場合：直ちに流水で洗い流す。
 眼に入った場合：直ちに多量の水で充分洗い流す。
 飲み込んだ場合：口をすすいだ後、多量の水または食塩水を飲ませる。必要に応じて医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤：この製品自体は燃焼しない。
 使ってはならない消火剤：無し
 特定の消火方法：速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は容器および周囲に散水して冷却する。
 消火を行う者の保護 (保護具等)：防火用保護具

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：無し
 環境に対する注意事項：無し
 除去方法：水を用いて洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：眼、皮膚に触れた場合には、大量の水で洗い流す。
 保管：容器は密封し、直射日光を避けて保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策：取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
 管理濃度：設定されていない。
 許容濃度：日本産業衛生学会 設定されていない。
 A C G I H 設定されていない。
 保護具：必要ならば、保護手袋、保護眼鏡を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状态
 形状：液体
 色：無色透明
 臭い：無し
 p H：7
 物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲
 沸点：約 100℃
 引火点：無し 発火点：無し
 密度：1.06
 溶媒に対する溶解性：ジエチルエーテルに可溶、エタノールに微溶。

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の使用においては安定である。

避けるべき条件 : 日光, 熱

11. 有害性情報

急性毒性 : 人体に対する毒性は弱い, 長期連用するとよう素中毒を起こす。

マウス 経口 $LDL_0=1862\text{mg/kg}$

マウス 腹腔内注射 $LDL_0=1117\text{mg/kg}$

皮膚腐食性・刺激性 : 皮膚に対する刺激は少ない。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

: 眼に入ると眼を刺激することがある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

: データ無し

発がん性 : IARC および NTP のリストに記載されていない。

生殖細胞変異原性 : データ無し

生殖毒性 : データ無し

特定標的臓器・全身毒性－単回暴露 : データ無し

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露 : データ無し

吸引性呼吸器有害性 : データ無し

12. 環境影響情報

魚毒性 : データ無し

残留性/分解性 : データ無し

13. 廃棄上の注意 : 多量の水で希釈する。

測定後の液 : 水で希釈(20 倍以上)して排出する。

排水処理装置がある場合は, 酸アルカリ系に排出する。

未使用液 : 水で希釈(10 倍以上)して排出する。

排水処理装置がある場合は, 酸アルカリ系に排出する。

空容器は内容物を水洗いした後, 産業廃棄物として処理する。

14. 輸送上の注意 : 容器に漏れの無いことを確かめ, 転倒, 落下, 損傷が無いように積込み荷崩れ防止を確実に行う。

国連分類 : 危険有害物に該当しない。

国内規制 : 適用法令なし

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条、施行令第 18 条別表第 9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)

沃素及びその化合物 (政令番号 : 606)

化学物質排出把握管理 : 非該当

促進法(PRTR 法)

16. その他の情報

引用文献

① 化学大辞典 共立出版社 (1963)

② 第十四改正 日本薬局解説書 廣川書店 (2001)

③ Dangerous Properties of Industrial Materials, 6th ed Van Nostrand Reinhold

Company (1984)

- * この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意してください。
また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。
なお、注意事項は通常の手理扱いを対象としたものであり、特殊な手理扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。